

2019年5月24～26日；四日市東日本大震災支援の会 第67回派遣 宮城県東松島市あおい地区災害公営住宅での交流会 活動報告

2019年6月23日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

宮城県東松島市では、集団移転が完了に近づきました。まだ一部の方は仮設住宅で不自由な暮らしを続けていますが、少しずつ普通の生活を取り戻そうとしています。今回は、東松島市内の最大の集団移転事業でできた「あおい地区」の災害公営住宅で交流会を実施しました。

宮城県東松島市；宮城県石巻市の西、松島町の東に位置し、2011年の東日本大震災では、沿岸地域だけでなく、海岸線から数キロ内陸まで津波が押し寄せ、住宅地の65%が浸水し、たくさんの方が亡くなり、多くの家屋が全壊・流失の被害を受けました。

<活動場所>

■あおい地区(集団移転先のあおい2丁目集会所)

■震災視察&語り部講話(宮城県石巻市旧大川小学校、福島県富岡町)

★申込方法・参加費

参加者 四日市大学学生13、四日市看護医療大学学生10、暁中学校高等学校生徒17、教職員3

参加費 23,000円(スタッフ6,000円)

■暁学園生徒・学生(スタッフ以外)は寄付金から一人10,000円の補助をしました。よって、当日の支払いは、13,000円(スタッフ6,000円)でした。

<費用の内訳>

- ・四日市ー宮城県の大型バス往復、現地での移動、語り部に対する謝金
- ・25日の昼食、25日の入浴
- ・ボランティア活動保険など

<スケジュール概要>

★5月24日(金)

20:30 四日市大学出発

20:50 近鉄富田駅出発 ⇒川越IC ⇒新東名・圏央道・東北道を経て宮城へ

★5月25日(土)

07:00 被災地視察：旧大川小学校(語り部の方のお話を聴きます)

09:30 東松島市あおい地区災害公営住宅(地区会会長の小野さんの講話)

10:30～災害公営住宅の戸別告知&見守り訪問(中高生は制服着用)

11:30～昼食

12:30～15:00 交流会(足浴&お茶会)

15:00～東松島市内散策(土産購入&入浴)裏面にショップなどの情報

17:00～ゆふと入浴(2Fロビーでスタッフからチケットを受け取る)

19:00～20:00 地区会の皆さんと夕食会(グループ毎に被災体験などを聴かせていただきました)

21:00 就寝(男子：2丁目集会所 女子：西集会所)

★5月26日(日)

05:30 起床

06:00 バスで移動 ⇒春日SA(約30分)で朝食購入&洗顔

09:00 原発事故で被害を受けた福島県富岡町を視察(語り部さんの話を聴きます)

20:00頃 四日市大学帰着 ⇒片付け ⇒解散

